

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立夕日寺小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施）

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	41.7	37.5	18.8	2.1	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	43.8	37.5	16.7	2.1	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することが できる。	37.5	45.8	6.3	6.3	4.2
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答 えることができる。	27.1	52.1	10.4	6.3	4.2
問7	アルファベットの大文字が書ける。	87.5	6.3	0.0	2.1	4.2
問8	アルファベットの小文字が書ける。	85.4	6.3	2.1	2.1	4.2
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を 見て、書き写すことができる。	62.5	18.8	12.5	2.1	4.2
問10	副読本の本文を声に出して読むこと ができる。	27.1	39.6	16.7	10.4	6.3

②来年度に向けての指導改善の具体策(令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・児童は「読める」「書ける」ということにとっても興味を持っている。3学期は、文字の読み書きに力を入れたが、来年度は、1学期から楽しめる教材をウォームアップに取り入れていく。
- ・意識調査から、英語を話したいと思っている児童は多いが、実際に英語で話しかけてみたことのない児童も多い。来年度も日常生活のどんな場面で使える表現なのかを児童に考えさせ、目的意識を持って取り組めるようにする。

③学校関係者評価

- ・英語の勉強の大切さに対する肯定的回答の割合が非常に高い一方で、英語での質問・返答に苦手意識を持つ児童が少なからずいるため、学校内での指示や物の賃借など、日常的に英語を使えるような工夫をするとうい。
- ・英語学習の意欲は、高く良い傾向だが、話す、書くことに苦手意識が見える。特に楽しく話せるようなカリキュラムとなるよう、外国人講師を招く、英語の歌をマスターする、英語のドラマや観光案内を見るなどの活動を楽しくできるとよい。
- ・英語学習については、児童が英語を学ぶことの必要性を感じ、苦手意識を持たないことが大切だと考える。その点から調査の数値を見ると、成果のある学習が行われていることが分かる。英語の読み書きについては、書くことはできるが、話すことが少し苦手のようなので、簡単な英語を使った実践的なコミュニケーションの場を増やすとよい。
- ・外国の方との英会話でのコミュニケーションが、地域の中において必要になる日常が来ることを見据えると、日常英会話の勉強を楽しいと思える工夫が求められる。
- ・アルファベットの文字が書ける割合が高い一方で、副読本の文字を声に出して読むことが苦手なようであり、ショートタイムの時間に声を発して読むことに配慮した活動を取り入れるとよい。
- ・小学生から英語学習をスタートすることについて、昔と比べて大変だとも思うが、英語の必要性や基礎知識についての肯定的回答の割合が高く、子供たちの前向きな姿勢を感じた。英語の授業があった日は、家庭でもよく英単語が聞かれるので楽しみながら親子で共有できたらいと思う。